

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
柔道整復学13							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・夜間部	2年	3期	藤沢 佑輝		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	臨床柔道整復学			座学	1	10	
科目概要							
膝関節の損傷は、柔道整復師の業務で良く遭遇する外傷です。何処が、どの様な損傷をしているか、推察できる様に確実に知識を身につける。							
目標							
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	下肢の損傷のうち、大腿骨遠位部骨折、下腿骨近位部骨折、膝関節脱臼、膝蓋骨骨折、膝蓋骨脱臼、膝関節部膝軟部組織損傷(半月板および靭帯)への対応時に求められる基礎的な知識を習得していく。						
	到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	1. 大腿骨遠位部骨折の特徴・症状・合併症・治療法等について理解し、選択肢の中から正しい答えを選択することができる。 2. 下腿骨近位部骨折の特徴・症状・合併症・治療法等について理解し、選択肢の中から正しい答えを選択することができる。 3. 膝関節・膝蓋骨脱臼の特徴・症状・合併症・治療法等について理解し、選択肢の中から正しい答えを選択することができる。 4. 膝蓋骨骨折の特徴・症状・分類・治療法等について理解し、選択肢の中から正しい答えを選択することができる。 5. 膝部軟部組織損傷の特徴・症状・テスト法等について理解し、選択肢の中から正しい答えを選択することができる。					
履修に必要な予備知識や技能							
損傷を理解するため解剖学、特に骨学・筋・靭帯学になるため1年次に学んだ解剖学の復習が必要。講義プリントでも適宜補足しながら授業を行う。							
教科書・参考書							
柔道整復学理論編第6版							
受講上の注意							
スマートフォン等の電源を切るか、マナーモードにしておく事。解らない事があれば授業中、授業後に適宜質問してください。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
	定期試験は、選択問題を中心に出題します。						
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	膝部の解剖			柔道整復学理論編P. 383～	柔道整復学理論編, 配布プリント		
第2回	大腿骨遠位部骨折・骨端線離解			柔道整復学理論編P. 388～	"		
第3回	大腿骨顆部骨折・内側側副靭帯裂離骨折・下腿骨近位部骨折分類			柔道整復学理論編P. 391～	"		
第4回	脛骨顆部骨折・顆間隆起骨折			柔道整復学理論編P. 392～	"		
第5回	脛骨粗面骨折・腓骨頭骨折			柔道整復学理論編P. 396～	"		
第6回	膝関節脱臼・膝蓋骨骨折			柔道整復学理論編P. 397～	"		
第7回	膝蓋骨脱臼・半月板損傷			柔道整復学理論編P. 401～	"		
第8回	側副靭帯損傷・十字靭帯損傷			柔道整復学理論編P. 402～404	"		
第9回	総まとめ				"		
第10回	定期試験						
実務経験と本講義との関連について							
15年前から鍼灸接骨院で勤務し、臨床現場で培った知識・経験をもとに講義していく。							
メールアドレス							
fujisawa-t@nihonisen.ac.jp							